

特集 学派論

公認心理師時代に学派を再考する

1 いま学派はどうなっているのか？

645 公認心理師時代に学派を再考する

● 山崎孝明

651 鼎談 | いま学派はどうなっているのか？

——中堅の嘆き・若手の憂い

● 生田倫子・日野 映・山崎孝明

2 臨床家にとって学派とは何か？

662 精神分析を生きる——学派と自己形成

● 藤山直樹

668 「道具箱」としての学派, その訓練と成熟について

——対立から融合へ ● 堀越 勝

675 今学派があることをどう考えるか？

● 河合俊雄

680 心理臨床における学派との「つきあい方」

● 田嶋誠一

3 なぜこの学派でなければならなかったのか？

686 なぜ人間性心理学なのか？ ● 金子周平

691 なぜ精神分析なのか？ ● 吉村 聡

696 なぜ認知行動療法なのか？ ● 原井宏明

701 なぜユング派なのか？ ● 田熊友紀子

706 家族療法のすすめ ● 藪垣 将

712 なぜブリーフセラピーなのか？ ● 戸田さやか

717 なぜ心理療法統合なのか？ ● 三瓶真理子

4 臨床家に学派は必要ないのか？

722 座談会 | 本当に臨床家に学派は必要ないのか？

——学派論を限界突破するために

● 東畑開人・上田勝久・小堀彩子・山崎孝明

◎投稿

【原著論文】

- 737 同性愛者への心理支援過程におけるセラピストの視点——性的指向の差異に対するポジショニングの質的検討
● 太齋 慧

◎連載

スクールカウンセラーのはじめかた

- 751 第4回「不登校は本当に支援対象なのか？——不登校支援①」
● 上田勝久

◎リレー連載

臨床心理学・最新研究レポート
シーズン3

- 757 第55回「気分障害と模倣」
● 中村杏奈

主題と変奏——臨床便り

- 762 第75回「臨床を記述する言葉——文学の効用」
● 大野美子

◎書評

- 763 末木 新・高坂康雅 編著『ここを守る仕事をつくる——心理職の新たなキャリアと働き方の可能性』
● 評者: 徳丸 享
- 764 高島聡子 著『家裁調査官, こころの森を歩く——離婚, 親権, 面会交流, そして少年非行』
● 評者: 門本 泉
- 765 江口重幸 著『病いのリアリティ——臨床民族誌の系譜』
● 評者: 村澤和多里
- 766 本田秀夫 著『新訂増補 子どもから大人への発達精神医学——神経発達症の理解と支援』
● 評者: 福田理尋

735 次号予告

749 実践研究論文の投稿のお誘い

767 総目次

773 投稿規定

774 編集後記